

### コミカルな人形劇を披露

(3月27日 地域交流センターゆう)

砂川と札幌の5つの人形劇団による「こども人形劇フェスティバル」が行われました。物語を独自の解釈や現代風にアレンジし、おなじみの物語とは異なる展開で観客を魅了しました。また、人形の予想もつかない自由な行動で会場が笑いに包まれるなど、大人も子どもも一緒に人形劇を楽しみました。



●市民おとな人形劇団「ひつじ座」  
「アラジンと魔法のランプ!!」

▼市長やご家族、職員から祝福を受ける松山さん(中央)



おめでとう  
100歳  
ございます

松山千代さん(三砂町)が、3月16日に100歳の誕生日を迎えられ、市から敬老のお祝いが贈られました。

松山さんは、札幌市でお生まれになり、女学校卒業後は札幌市のデパートで勤務された後、ご結婚され、4人の子どもを授かりました。その後、砂川市に移り住まれ、平成20年に福寿園に入居されました。福寿園ではテレビで演歌やスポーツ番組を見るなどして楽しんでいらっしゃいます。いつまでもお元気で過ごしてください。

▼市長とご家族から祝福を受ける石川さん(前列右)



おめでとう  
100歳  
ございます

石川茂さん(北光)が、3月23日に100歳の誕生日を迎えられ、市から敬老のお祝いが贈られました。

石川さんは、大正5年に新十津川町でお生まれになり、結婚後は3人の子どもを授かりました。

昭和39年、砂川市に移り住まれ、農業を営まれていました。90歳まで広報委員をされ、93歳までは自乗車に乗っておられました。現在は、自宅で長男家族と同居されており、毎日、新聞を読むのを楽しみにしていらっしゃいます。いつまでもお元気で過ごしてください。

▼市長からお祝いを受ける笠木さん



おめでとう  
100歳  
ございます

笠木清正さん(西6南13)が、3月27日に100歳の誕生日を迎えられ、市から敬老のお祝いが贈られました。

笠木さんは、深川市でお生まれになり、小学校入学時に砂川市に移り住まれ、その後は市内で農業を営まれていました。現在は、自宅で長女と同居されており、毎日ヤクルトを飲まれているほか、甘いものなどを食べることを楽しみにされています。いつまでもお元気で過ごしてください。